

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

尿路上皮癌における腫瘍免疫微小環境の研究

1. 研究の対象

2012年1月1日から2022年4月30日までの間に、当院の腎泌尿器科で尿路上皮癌の根治手術（腎尿管全摘除術、膀胱全摘術）を受けられた患者さん。

2. 研究目的・方法

目的 下記の試料・診療情報等を利用し、尿路上皮癌に対する抗がん剤治療がどのように腫瘍免疫に影響を与えるかについて解明することを目的とした研究を実施する。

当院において尿路上皮癌の根治手術（膀胱全摘術、腎尿管全摘術）を受けられた方の中から研究者が診療情報をもとに手術前の抗癌剤治療に関するデータを調査し、腫瘍細胞を免疫染色することで抗癌剤治療が腫瘍免疫に与える影響について調べます。

方法 この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

・診療情報等：診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像、病理結果）等

・既存試料：摘出標本を免疫染色して腫瘍の免疫環境を評価します。

4. 情報の提供先・提供方法

上記の診療情報等を他施設に提供することはありません。

5. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

6. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：2340）

研究責任者 腎泌尿器科 宮嶋 哲

問い合わせ担当者 腎泌尿器科 梅本 達哉

-----以上